

## 推進方法クイズ

1	<p>規則上許されたパンプをすると同時に、パドルで一かき分の効力をもつ一回のロールをさせても良い。</p> <p>RRS42.3(c)、基本 4</p> <p>42.3(c)に定められている例外は、1波1回のパンプについてであり、ロールについてはない。1回のロールは、基本 4 違反になることがあり、ロールが繰り返されれば、42.2(b)(1)違反になる。</p>	○	×
2	<p>艇を前に進めたり、後退を防ぐ効果を持たない、左右への穏やかな舵の動きは 42 条違反ではない。</p> <p>RRS42.2(d)</p> <p>繰り返しの舵の動きが、力強いか、艇を前に進めたり後退を防ぐ効果を持つ場合、42 条違反のスカリングになる。中心線を越えて、穏やかに舵を動かすことは、規則違反ではない。</p>	○	
3	<p>サーフィングやプレーニングできるかどうかギリギリのコンディションでは、パンプしてはいけない。</p> <p>パンプ 7</p> <p>サーフィングやプレーニングできるかどうかギリギリのコンディションでパンプすることは、たとえサーフィングやプレーニングに失敗しても、42 条違反ではない。しかし、このような失敗を繰り返すと、その艇はイエローライトエリアになる。(パンプ 8)</p>	○	×
4	<p>ある艇にとって、サーフィングやプレーニングできるコンディションであれば、他の艇にとってもサーフィングやプレーニングできるコンディションである。</p> <p>パンピングして良いかどうか判断する時には、ある艇がいるその場所で、プレーニングやサーフィングが可能かどうかだけが問題である。可能か否かは、コース上の場所ごとに違う。</p>	○	×
5	<p>ISAF のマニュアルによれば、戦術的な推進方法違反を目撃したジャッジは、単独でも(複数のジャッジの合意がなくても)、ペナルティーを与えられる。</p> <p>P1</p> <p>戦術的な推進方法違反とは、戦術的な優位を得るための、短時間の違反のことであり、一人のジャッジでペナルティーを与えられる。</p>	○	
6	<p>ジャッジが、レース委員会の信号やクラス規則に従わず、ペナルティーを与えてしまった場合、艇には救済を受ける権利がある。</p> <p>P4</p> <p>付則 P によれば、ジャッジがレース委員会の信号やクラス規則に従わなかった場合にだけ、救済を与えることができる。</p>	○	
7	<p>ISAF のマニュアルによれば、技術的な推進方法違反には、2 人のジャッジが合意した場合にのみ、ペナルティーを与えられる。</p> <p>技術的な推進方法違反とは、選手の乗り方の一部になっているような違反である。42 条</p>	○	

	違反かどうか疑わしい場合には、選手に有利なように判断しなければならず、そのため、二人のジャッジが合意した時にだけペナルティーを与える。		
8	ラフさせるためにヒールさせるのは、42 条違反になる。 RRS42.3(a)、ロック 6 ヒールの量と、艇の向きの変わる量が、釣り合っていないなければならない。		×
9	波によって起きた艇の横揺れを、選手は止めなければならない。 ロック 6		×
10	クローズホールドより風上を向いた状態から、クローズホールドの角度に向けてベアしようとして行う、繰り返しの力強い舵の動きは、たとえ艇の向きが変わらなかったとしても、42 条違反ではない。 RRS42.3(d)、スカル 1 スカリングが 42.3(d)によって許されるのは、クローズホールドより風上を向いた状態から、明らかに艇の向きが変わっている場合だけである。メインシートを引き込んで、ベアを防ぎながらスカリングするのは、42 条違反である。		×
11	タッキング完了後(新しいクローズホールドの角度になった後)には、艇をフラットに戻すためであっても、パドルで一かき分の効力を持つ、一回のボディパンプしてはいけない。 RRS42.1、42.3(b)、基本 4、基本 6 RRS42.3(b)は、タック中またはジャイブ中の操舵を助けるためにのみ、身体を動かすことを認めている。それ以外の、パドルで一かき分の効力を持つ体の動きは、禁止されている。	○	
12	イエローライトエリアであることを理由に、ペナルティーを与えてはならない。 用いられている用語の解釈 選手の動きがリズムカルになるほど、また、繰り返されるほど、ペナルティーの可能性が高くなる。	○	
13	クラス規則で定められた風速を越えているのに、レース委員会が O 旗を揚げなかった場合、救済の根拠になる。 P4、P5(a)、(b) O 旗を揚げるかどうかの判断は、レース委員会に任されている。		×
14	R 旗が揚がっているマークを回航した後は、ロッキングしてはならない。 P5(c)	○	
15	470 の予告信号時に O 旗が掲揚された場合、スタート後に、42 条の制限が緩められる。 470 クラス規則 C1.1.(a)(1)、P5(a) 470 では、42 条の制限が緩められるのは、スタート信号後である。		×
16	470 の予告信号時に O 旗が掲揚された場合、スカリングとウーチングしてよい。 470 クラス規則 C1.1.(a)(1)、P5(a) スカリングおよび繰り返しのタック・ジャイブは、常に禁止されている。ウーチングは、スタート信号後であれば、やって良い。		×

17	<p>プロテスト委員会のメンバーだけが、42 条違反に対しペナルティーを与えられる。</p> <p>P1</p> <p>プロテスト委員会が指名した監視員も、規則違反を目撃した場合、ペナルティーを与えられる。</p>		×
18	<p>各ロールでコース変更すれば、平水面で繰り返しロールさせてよい。</p> <p>RRS42.3(a)、42.2(b)(1)、ロック 7</p> <p>艇の向きを変えるためのロールだけが許される。波がない場合、艇の向きを変えるためのロールが正当化されることは、ほとんどない。</p>		×
19	<p>パドルで一かき分の効力をもたなければ、1回のロールは、42 条違反ではない。</p> <p>基本 4、ロック 2</p> <p>パドルで一かき分の効力で船を推進させない、一回の身体の動き(ロールでもパンプでも)は 42 条違反ではない。</p>	○	
20	<p>艇がクロスホールドの角度のとき、艇の向きが変わっていれば、一方向に向けてスカリングして良い。</p> <p>RRS42.2(d)、スカル 1、RRS42.3(d)</p> <p>艇がクロスホールドの角度より風上を向いていて、止まっているか、ほとんど止まっている場合にのみ、42.3(d)によって、例外的にスカリングが許される。</p>		×
21	<p>セールを逆に張ったあとに、艇がバックするのを防ぐために、繰り返し舵を動かしてはならない。</p> <p>RRS42.2(d)、スカル 3</p> <p>減速するために舵を繰り返し動かして良いが、セールを逆に張ることで生じたスピードを減速するために舵を繰り返し動かすことは、42 条違反である。艇の後退を防ぐために繰り返し舵を動かすのは、42 条違反である。</p>	○	